

デザイン解析ツールの活用について

ひとの印象を客観的に判定する新たな技術が生まれています。

その一つであるデザイン解析ツールを活用した
当社のデザイン品質向上への取り組みについてご紹介します。

■装丁デザインへの解析ツール活用

雑誌や書籍の装丁は、商品内容や特長、雰囲気伝えるため、そして何より商品に注目してもらうために非常に重要な要素です。最も慎重に企画、デザインされ、多くの目で仕上がりをチェックし、推敲を重ねて完成まで持つて行くのが一般的です。

当社でもこれまで多くの装丁デザインを制作してきましたが、この度デザイン品質の更なる向上を求め、コニカミノルタ社のデザイン解析ツール『EX感性』を導入しました。

装丁デザインは、ビジュアル（写真、イラスト）、配色・余白、文字、用紙、表面加工や特殊加工等の組み合わせによって作られます。そのうち、配色・余白や文字配置がデザイン全体の出来映えを決定づける度合いは、決して小さくありません。解析ツールでそれらが見える化（数値化・言語化）することによって、分析結果に基づいたデザイン修整が可能になります。

■デザイン分析の方法

デザイン解析ツールにはいくつかのメニューが用意されていますが、当社では雑誌書籍の装丁デザイン評価に有効と思われる、3種類の分析方法をおもに使用しています。実際にどのようなかたちで分析結果が表れるのか、下図をご覧ください。

当社では一旦できあがったデザインを解析ツールにかけ、その結果を参考に、より商品の特性やお客様の意向に沿ったデザインになるよう配色や文字サイズ、写真トリミング等を調整しています。

なお、当社へ装丁デザインをご依頼いただいた場合、デザインカンパとともにこちらの分析結果をお客様に提出いたします。

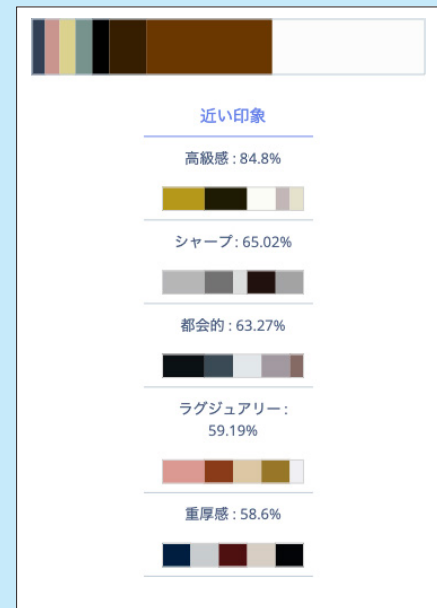
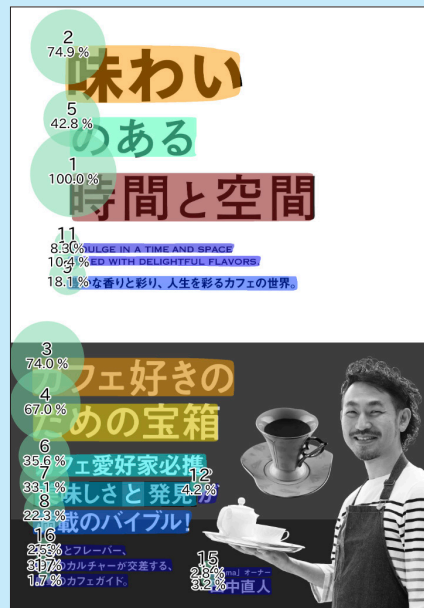
■デザイン分析の活用方法

デザイン解析ツールによる分析のメリットは、個人の直感に頼りがちなデザインの評価に客観的な根拠を

与えられることです。分析結果はクライアント、著者、上長など他の校正者へ追加の判断材料として提示することができますし、デザインを評価する担当者にとって共通のものさしとなるため、複数人でデザインを選考する会議などでは特に役立ちます。

また、このツールは新たに作成したデザインだけでなく既製品のデザインも分析することができます。現行商品や他社商品を分析することで、今までにない角度、視点から改善の方向性を見出すこともできますし、他社の類似書に埋没しないよう差別化するといったことも可能です。ほかにも様々な活用の可能性があると思われます。当社のデザイン分析を是非お役立てください。





Sample 1

書籍の内容に合わせて「上品ですっきりとしたイメージ」という要望をお客様からいただき制作した装丁。印象語ランキングの上位に「高級感」が現れたため、よりその印象が増すように配色を調整しました。(印象比率が80%を超えると実際にその印象として感じる可能性が高くなります。)

Sample 2

専門誌のリニューアルに伴う、新しい表紙デザインを制作しました。アイソメトリックイラストを使用し、女性や若年層が手に取りやすい、柔らかく現代的なイメージを狙っています。また、毎月2本ある特集記事のタイトルに一番先に目が行くようにテキストの大きさや配置を調整しました。

